



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日本語)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「日本伝道旅行」⑥  
 その後で彼は、「役員会でOKもらったよ」とのたもった。あまり喜怒哀楽を表面に出さない彼であるが、内心、嬉しそうであった。来春が楽しみである。  
 その翌日、青森へ向かう。そこでは九十四歳になる母が待っている。もう認知症が始まっているから、僕をどう迎えてくれるのか、内心不安であった。  
 北条から特急に乗り、岡山県倉敷市と香川県坂出市を結ぶ「瀬戸大橋」を通る。そこを渡るのが長年の夢であった。本州と四国を結ぶ最初の橋で。鉄道併用はここだけだ。全長十二・三キロで、海峡部が九・四キロ、合計十の橋が架かる。この橋は何百トンもの列車が通るたび毎に重みでたわむ。つり橋だから当然なのだが、さらに、その橋の上で上り下りの列車がすれ違う。そうなるのとだけ橋がたわむのかと案じてしまう。それにしても多くの事に興味を沸く。そこにさしかかると僕は席を立ち、デッキに出て橋の左右に目を凝らしていた。うず潮が見える。大型船舶も通る。そのはるか頭上に組まれた橋桁の間をくぐるかのようにして列車が走る。その間、何分経っただろうか、僕は目を皿のようにして橋の回りを見、列車の音を全身で聞き、この夢のようなひと時に、しばし陶醉していた。  
 僕は時に、このような架橋建設に就いていたかかったと思う。そういえば、僕が大卒を卒業した一九七三年当時、青函海底トンネル掘削がすでに始まっていた。そこで地質業務に就かないかと教授に何度か勧められた。その度ごとに、「僕はアメリカに行きたいんです」と言う、「お前バカだなあ。こんな良い話は開校以来、なかったんだぞ!」と嘆かせたことがある。しかし、たとえそれらの仕事に就いていたとしても、僕は決して満足してはいなかったであろう。救い主イエス・キリストを伝えることに優る喜びはないからだ。ローマ書に、「ああ、麗しいかな、良きおとずれを告げる者の足は」(二〇・15)とあるように、この世界に福音ほど人を満足させ、喜ばれるものは他にない。  
 朝の八時過ぎに北条を出て、岡山で新幹線に乗り換え、新青森経由で実家の大鰐に着いたのは夜の九時半過ぎであった。しめて十三時間の列車の旅であった。母は僕を覚えてくれていた。「ちかき、よぐ来たこと」との第一声に、それまでの疲れも、不安も一気に吹っ飛んでしまった。母は長男、長女と三人で暮らしている。僕が安心してアメリカで生活することが出来る。昨年からは始まった認知症の母は、週二回のデーケア・サービスマに喜んでゆく。しかも、そこに毎日行くものだと思っている。だから朝毎に、そのための身支度をする。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」  
 オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。  
 私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

